TOKYO MARATHON 2023

2023年3月5日(日)

車いすエリート出場選手発表資料

車いす招待選手（男子）
車いす招待選手（女子）
車いすエリート選手(男子)
車いすエリート選手(女子)

2023年1月26日(木) 発表

一般財団法人東京マラソン財団

主催：東京マラソン財団　共催：日本陸上競技連盟、東京都、フジテレビジョン、産経新聞社、読売新聞社、日本テレビ放送網、東京新聞

東京マラソン 2023 車いすエリート 募集要項

1. 大会名称　東京マラソン 2023（英文名：Tokyo Marathon 2023）
兼　ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ
兼　ブダペスト 2023 世界陸上競技選手権大会日本代表選手選考競技会
兼　杭州 2022 アジア競技大会日本代表選手選考競技会
兼　マラソングランドチャンピオンシップチャレンジ
兼　アボット・ワールドマラソンメジャーズ シリーズ XV

2. 主　　催　一般財団法人東京マラソン財団

3. 共　　催　公益財団法人日本陸上競技連盟、東京都、フジテレビジョン、産経新聞社、読売新聞社、日本テレビ放送網、東京新聞

4. 後　　援　スポーツ庁、国土交通省、観光庁、特別区長会、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本パラスポーツ協会、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人経済同友会、東京商工会議所、公益社団法人東京都医師会、公益財団法人東京防災救急協会、東京民間救急コールセンター登録事業者連絡協議会、公益社団法人東京都看護協会、公益財団法人東京観光財団、東京都町会連合会、東京都商店街振興組合連合会、東京都商店街連合会、公益財団法人東京都体育協会、一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会、サンケイスポーツ、夕刊フジ、ニッポン放送、報知新聞社、ラジオ日本、東京中日スポーツ

5. 主　　管　公益財団法人東京陸上競技協会

6. 運営協力　公益社団法人東京都障害者スポーツ協会、特定非営利活動法人関東パラ陸上競技協会

7. 特別協賛　東京地下鉄株式会社

8. 日　　程　2023 年 3 月 5 日（日） 9:05　スタート

9. コ ー ス　東京マラソンコース（日本陸上競技連盟・ワールドアスレティックス /ＡＩＭＳ公認コース）
東京都庁～水道橋～上野広小路～神田～日本橋～浅草雷門～両国～門前仲町～銀座～田町～日比谷～東京駅前・行幸通り

10. 参加資格　(1) 次の①・②・③の条件を満たす競技者
① 大会当日(2023 年 3 月 5 日)現在満 19 歳以上の者
② 2022 年度日本パラ陸上競技連盟登録競技者かつ 2023 年 International Paralympic Committee 登録を大会当日までに完了した者で、World Para Athletics 国際クラス T53・T54 でクラスステイタス R(2023 以降)または C を保持している者
③ World Para Athletics 公認大会で、2019 年 3 月 1 日以降申込期日までに男子 1 時間 50 分以内、女子 2 時間 00 分以内の公認記録を有する者
(2) 主催者または日本パラ陸上競技連盟が推薦し招待する海外・国内の競技者

11. 対象クラス　T53/T54（World Para Athletics 国際クラスに準ずる。なお、今大会ではクラス分けは行わない。）

12. 競技規則　World Para Athletics 競技規則（大会開催日に適用される最新の World Para Athletics 競技規則）及び本大会規定による。なお、World Para Athletics の規則により、ドーピング検査を実施する。また、参加する全ての選手に World Para Athletics 競技規則の広告に関する規程が適用される。

13. 定　　員　男女計 30 人（招待選手含む）

14. 参 加 費　23,300 円
※参加料、事前検査費用、参加費等返金保険料、事務手数料、消費税込み。
※新型コロナウイルス感染症対策として実施予定の事前検査について、今後感染症法上の取り扱い変更等により、検査を実施しないこととなった場合には、参加費の一部を返金します。

15. 参加申込　(1) 期間　2022 年 12 月 9 日(金)から 2023 年 1 月 6 日(金)17:00 必着
(2) 方法　氏名、フリガナ、生年月日、所属名を記載し「車いすエリート参加希望」というタイトルで TM_Elite@tokyo42195.org へ電子メールにより連絡すること。追ってエントリーフォームを返信する。

16.出場者決定　　2023年1月23日(月)以降、通知する。

17.表　　彰　　「東京マラソン2023　車いすマラソン」の総合成績で男女第1位から第8位を表彰する。

18.賞　　金　　1位 2,000,000円、2位 1,000,000円、3位 700,000円、4位 350,000円、 5位 250,000円、
6位 160,000円、7位 120,000円、8位 60,000円
世界記録　　1,000,000円（男女1位のみ）
日本記録　　500,000円（男女国内1位のみ）
大会記録　　200,000円（男女1位のみ）
大会記録更新スプリットタイムボーナス（男女）1位　150,000円　2位　100,000円　3位　50,000円
※ 賞金対象は、World Para Athletics登録者で、国際クラス（T53・T54）を保持している者。
※ 金額はいずれも税込み。

19.選手受付　　2023年3月4日(土)　午前中（予定）　　京王プラザホテル（大会当日は、受付を行わない。）
※選手受付時間は午前中（予定）に行うので注意すること。
※エリート選手は大会前のドーピング検査の対象となる場合があることから、受付は選手本人が行うこと

20.テクニカルミーティング
2023年3月4日(土)　午後（予定）　実施方法を含め、別途参加案内にて通知予定。

21.個人情報の取り扱いについて
主催者及び日本パラ陸上競技連盟は個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し、主催者の個人情報保護方針に基づき、個人情報を取り扱う。大会参加者へのサービス向上を目的とし、参加案内、記録通知、関連情報の通知、医療救護、次回大会の案内、大会協賛・協力・関係各団体からのサービス提供、記録発表(ランキング等)に利用する。また、主催者および日本パラ陸上競技連盟もしくは委託先からの申込内容に関する確認連絡をすることがある。

22.ドーピング・コントロール
(1) 本競技会は、ワールドアスレティックスアンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づく競技会（時）ドーピング対象大会である。競技会（時）検査は大会前日23時59分から検査が終了するまでの期間であり、尿又は血液（或いは両方）の採取が行われる。検査該当者は検査員の指示に従って検査を受けること。
(2) 競技会（時）検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、または顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。）
(3) 本競技会参加者（18 歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従いドーピング検査の対象となることに同意したものとみなす。
(4) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完 了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
(5) 競技会（時）・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2 時間の安静が必要となることがあることに留意すること。
(6) TUE申請について
禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例（TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のウェブサイト（https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/)、又は公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(http://www.playtruejapan.org/)を確認すること。禁止物質・禁止方法について TUE が付与されている場合には、その証明書（コピーで可）をドーピング検査の際に検査員へ提出すること。
(7) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（http://www.playtruejapan.org）にて確認すること。

23.そ の 他　　(1) 本大会は、ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ 男女グレード1の大会として実施する。
(2) 参加にあたっては、本大会要項並びに各種規約（「エントリー規約」及びに「感染症予防対策等に関する規約」等）を確認のこと。(https://www.marathon.tokyo/participants/guideline/)
(3) 日本政府が示すイベントに関する制限緩和等により、大会要項・各規約等を変更する場合がある。
(4) 本大会は国内の関連するすべての法令を遵守し実施する。
(5) 大会出場中の映像・写真、記事、記録等のテレビ、新聞、雑誌、インターネット等への掲載権は主催者に属するものとする。
(6) 賞金の支払い方法等は、別途定める支払規定による。

東京マラソン 2023 車いすレース 競技規則

1. 本大会は、World Para Athletics 競技規則（大会開催日に適用となる最新の World Para Athletics 競技規則）及び大会規定により実施する。
2. 全ての選手は、衣類及び車いすについて、World Para Athletics 競技規則の広告に関する規程を遵守しなければならない。
3. 競技者は、スタートラインからフィニッシュラインまで、コース内の決められた走路を走行する。
4. 本大会では、性別の異なる選手の背後を 5m以内の距離で追走する行為（ドラフティング）を禁止する。また、エンジンのついた車両あるいは自転車の後ろを走行しドラフティングすることも禁止する。
5. 競技者が走行中に他の競技者の走行を故意に妨害した場合は、失格とする。
6. 競技者は、ヘルメットを着用しなければならない。ヘルメットは外殻が固く、保護性に優れ、国際安全基準を満たしていなければならない。
7. 競技者が走行中に転倒した場合は、競技役員による介助のみ受けられる。ただし、競技者に有利になるような介助は受けてはならない。競技役員以外の者から助力を受けた場合は、失格とすることがある。
8. 競技中における車いす修理の援助は、競技役員にかぎり許可する。
9. 競技者は、走行中、医師及び競技役員から競技中止を命ぜられたときは、直ちに競技を中止しなければならない。
10. 競技者は、競技役員及び警察官の指示に従わなければならない。
11. 競技者は競技中、下肢のいかなる部分も地面またはトラックに接触しないようにしなくてはならない。
12. クラスについては、別紙の国際クラス分け表による。
13. 本大会では、ドーピング検査を実施する。
14. 関門の制限時間を次のとおり設ける。

4.9km 地点	20 分 00 秒
9.5km 地点	35 分 00 秒
10.7km 地点	40 分 00 秒※
21.0km 地点	50 分 00 秒
29.2km 地点	1 時間 35 分 00 秒
フィニッシュ地点	2 時間 10 分 00 秒

※ 9.5Km は、車いす 10Km レース制限時間。車いすマラソンもこの時間を超えてレース続行はできない。

15. 給水所を次の通り設ける。

5 km、7 km、10km、12km、15km、17km、22km、25km、27km、30 km、32km、35km、38km、40 km地点付近

※ 詳細は、オフィシャルプログラムに記載する。

16. 車いすについては、次のとおりとする。
    (1) 車いすは２つの大きな車輪と１つの小さな車輪から成るものとし、小さな車輪は、車いすの前方になければならない。
    (2) 車いすのフレームまたはその他付属品の一部は、前輪のハブを超えて前方に伸びたり、後輪（タイヤを含む）の最後の垂直面を越えて後方に伸びてはならない。さらに、フレームの幅とその取り付け部分はプッシュリムの傾斜面よりも広くなってはならない。車いすフレーム底部の地面からの高さは 50cm 以内とする。
    (3) 後輪、前輪の最大直径は空気を充填したタイヤを含めて、後輪 70cm・前輪 50cm 以下とする。
    (4) 各大輪には特殊仕様ではない円形のプッシュリムを１つずつつけることができる。
    (5) 一般的な主旨に反する改造を禁じ、競技者のいかなる身体の部分がプッシュリムや車輪に縛り付けられてはならない。
    (6) 電動車いすおよび車いすを推進するいかなる機械的ギアやレバーを取り付けた車いすを使用してはならない。
    (7) ミラーの使用を禁止する。
    (8) 機械的操縦装置は腕で操作するもののみ認められる。競技者は前輪を手動で左右に動かすことができなければならない。
    (9) フェアリング等の使用または空気力学的な能力を向上させるように特別に設計された車いすやそれに類似した装置の使用は禁止する。
    (10) 車いすは招集所で測定・検査され、検査された車いすは競技開始前に競技区域外に持ち出してはならない。いったん検査を受けた車いすであっても、競技開始前または終了後に競技役員が再検査することがある。
    (11) 前述に限らず、競技規則を満たす車いすの準備は競技者の責任であり、いかなる競技も競技者が車いすを調整するために遅れることがあってはならない。
    (12) 車いすのフレームまたは競技者に取り付けられる装置は、規則 7.4d（助力）に準拠し、競技者に不当なアドバンテージを提供する物理的または技術的な動作または行動、そして競技エリア内にて通信機能があるデバイスの使用を禁じる。GPS 機能の付いたスピードメーターは意思疎通機能がなければ持ち込んでもよい。

T53
このクラスの選手は、正常な上肢機能を持ち、腹筋または下部の背筋は機能しない。腹筋の機能を補うために、体幹を水平に近づけるといった様々なテクニックを用いる。一般的に加速の時には、体幹を下方に保持しておくための腹筋の機能がないため体幹は膝から離れて起きる；駆動中、下方への自動的な体幹の運動はみられない。大抵の場合、代償機能を調整するために駆動サイクルは制限される。脊髄損傷の神経残存レベル T1-7 と同等の活動制限がある。

T54
このクラスの選手は、正常な上肢筋力を持ち、体幹をコントロールする能力は部分的なものから正常までの幅を持っている。このグループの選手の中には有効な下肢の筋力を持っている選手もいることがある。リムに駆動の力が加えられた時に、体幹を下方に保持するための正常な体幹コントロールができる。大抵の場合、駆動時のサイクルはスムーズである。
車いす上で身体を起き上がり、回旋する筋力を加えることによって車いすの方向転換をすることができる。脊髄損傷の神経残存レベル T8-S4 レベルと同等の活動制限がある。

（※）上記は、日本版クラス分けマニュアルから抜粋したものであり内容が一部異なる場合があります。
詳しくは、日本パラ陸上競技連盟ホームページにて最新版をご参照ください。
https://para-ath.org/contents/code/committee/committee3

東京マラソン2023　車いすエリートレース展望

車いすマラソンレースディレクター
副島　正純

今年の東京マラソンは AbbottWMM シリーズ XV の初戦となります。車いすエリートレースには、男女とも昨季のシリーズ XIV のランキング上位者から招聘しました。選手にはシリーズポイント獲得も目指し、ハイレベルな好レースを期待しています。
AbbottWMM シリーズに車いすレースが加えられたのは 2016-17 年期のシリーズ X からですが、昨季（シリーズ XIV）中の 2022 年 9 月 30 日に、賞金制度の変更が発表されました。1 位から 3 位までだった表彰対象が 1 位から 5 位までに拡大され、しかも車いすレースの賞金額がエリートレースと同額になりました。（参考: 1 位$50,000、2 位$25,000、3 位$12,500、4 位$7,500、5 位$5,000 ）
車いす選手にとって金額だけでなく、やはり自分たちの競技が認知されたという喜びが大きく、勝利へのモチベーションもより高まる変更であり、本当に嬉しく思います。選手たちにもぜひ、ハイレベルな走りを見せてほしいと思います。

では、まず、男子のレースから展望します。招待選手はシリーズ XIV のチャンピオンでもあるマルセル・フグ（スイス）をはじめ、7 名（海外 4 名、国内 3 名）ですが、レースのポイントは「とにかくフグを逃がさないこと」に尽きます。

最近のフグは圧倒的な強さで、AWMM シリーズをはじめ、多くのレースで勝利を重ねています。他の選手もフグに対応しようと研究し努力してはいるものの、最近は 2 位のフィニッシュタイムが 4～6 分ほど差が開いてしまうレースも見られます。

例えば、東京マラソン 2021 ではフグが 1 時間 22 分 15 秒で優勝しましたが、2 位の鈴木朋樹は 1 時間 29 分 11 秒でした。トップ選手同士のレースで約 7 分差はかなり大きく、厳しい結果ですが、それほど最近のフグは完璧な強さで、弱点が見えません。
以前のフグはスタートからスピードをあげ、そのまま逃げていくレースが多かったのですが、最近はスタートではそれほどダッシュせず、序盤は他の選手の様子を横から見ながら、焦る様子も見せず、そのうちにリードし引き離していくレースをしています。上りも強く、以前は下りでレーサー（競技用車いす）があまり転がっていない印象がありましたが、今は下りも速いです。

車いすレースでは年齢的に 30 代後半から 40 代すぎの選手がトップ集団にいることも多く、現在 37 歳のフグもいろいろな経験を積んで精神的にも安定しフィジカルも充実し、今は思い通りに走れている状況ではないでしょうか。そんな車いすレース界のトップランナー、フグのスピードや強さを間近に体感できることは見どころの一つでしょう。

そんなフグに、他の選手がどう対応するか。注目は前半 10 km辺りまでのレース展開です。東京マラソンのコースは序盤が比較的下り基調でスピードに乗りやすく、とくに 5 km地点辺りの大きな下りでぐっと加速できます。前半の走りが後半まで影響し、そのまま展開するレースが多いので、とにかく早い段階でフグを逃がさないようにしなければなりません。

できるだけ多くの選手が食らいついて集団をつくり、序盤のスピードを落とさないように皆でローテーション（*1）をしながら、フグに余裕を持たせないレース展開に持ち込みたいところです。（*1：先頭を交代しながら、高速を維持する集団での走法）

そうした展開の後押しに少しでもなればと、昨年は 13 km地点に設定した「400m スプリントボーナス（*2）」区間を、今年は 10 km地点の通過タイムへ変更し、勝負ポイントを早めに設定しました。レースはフグを軸に展開すると思いますが、他の選手たちにもフグと絡みながら、ボーナスポイント獲得にも挑んでもらいたいと思います。（*2：設定区間 400m のタイムトライアルで、1 位の選手はボーナスポイント 8 点を獲得できる）

海外選手でフグとの競り合いが期待できる一人はダニエル・ロマンチュク（アメリカ）です。24 歳と若く、長いリーチを生かしたパワフルな走りが特徴で、とくに上り坂に強さがあります。また、ジョンボーイ・スミス（イギリス）もトータル的な力があり、集団をつくってローテーションをうまく回せる選手です。ジェーク・ラピン（オーストラリア）はもともとトラックの選手でスプリント力がありますが、マラソンでは未知数な分、どんなレースを見せてくれるか楽しみです。

対する日本勢ですが、アジア記録（1 時間 18 分 37 秒）保持者の鈴木が筆頭です。800m をメインとしているのでスプリント力には定評がある分、後半のスタミナに多少不安もありますが、マラソンに向けた長距離の練習しだいでは十分に戦える力はあると思います。

西田宗城（バカラパシフィック）は総合力があり、長距離レースを主戦としています。昨夏、腕を故障した影響でしばらくレースを休んでいましたが、3 月に向けてどんな調整してくれているか。スタミナはあるので前半から挑んでフグと競り合い、後半まで食らいつくレースを期待します。

渡辺勝（凸版印刷）も楽しみです。東京マラソン 2017 でフグや鈴木も絡んだフィニッシュスプリントを制して初優勝していますが、昨季は積極的にレースに出場し、連戦による経験の蓄積でさらに力を伸ばしています。スタートダッシュ力もあるので最後までトップ集団の中で粘り、フィニッシュスプリントまで絡んでくれると、面白いレースになると思います。

とにかく、前半でフグを逃がさずに集団でレースを展開してペースを維持できれば、好タイムも期待できそうです。最終的には昨年のフグの優勝タイム、1 時間 22 分台よりも速い 21 分台前半から、できれば 20 分台後半くらいのタイムを狙ってほしいところです。

■女子は集団走で、好タイムを期待

女子の招待選手は 7 名（海外 5 名、国内 2 名）です。ここ最近のレースタイムを見ても大差がなく、実力が拮抗した選手たちなので、レースは集団で展開すると思います。皆でうまくローテーションして、タイムを狙っていく展開を期待しています。

注目選手の一人は現世界記録（1 時間 35 分 42 秒）保持者の、マニュエラ・シャー（スイス）です。昨春、脚を骨折して手術をしましたが、リハビリを経て秋のマラソンシーズンから復帰。AWMM のベルリンマラソンやニューヨーク・シティマラソンに出場するなど徐々に調子を取り戻しているようです。冬季トレーニングでどう 3 月の東京マラソンに合わせてくれるか楽しみです。
アメリカのスザンナ・スカロニも昨年は安定した強さを発揮し、シリーズ XIV の女子チャンピオンに輝いています。勢いを維持しているので、いいレースになりそうです。

こうした海外の強豪選手に対して、日本勢の喜納翼（琉球スポーツサポート）、土田和歌子（ウィルレイズ）がどう絡むかが楽しみです。昨年は日本選手 2 名のみの出場で、序盤は喜納と土田が競り合いましたが、15 ㎞すぎから日本記録（1 時間 35 分 50 秒）保持者の喜納がリードを広げ、最終的にひとりでレースをつくって 1 時間 40 分台をマークし 2 連覇を達成しました。

土田はトライアスロンとの二刀流で出場した東京パラリンピック後に、「マラソン専念」を発表し、昨年 11 月の大分国際車いすマラソンでは終盤までスカロニ、喜納と競り合い、フィニッシュスプリントを制して 9 年ぶりに 7 度目の優勝を飾るなどマラソンランナーとしての力を戻してきています。

女子のレースは誰か一人が逃げる展開はあまりないと思うので、有力選手がうまく集団をつくってローテーションし、最後まで競り合うことで好タイムを期待します。天候にもよりますが、1 時間 37 分台くらいまで上がる速いレースになってくれればと思います。

男女とも世界トップレベルの車いすランナーが顔をそろえる東京マラソン 2023 では AWMM シリーズ XV の最初の勝者が決まります。下り坂では時速 50 ㎞以上にも達するスピード感やコーナーリングのテクニックなど、車いすレースならではの醍醐味もぜひ、お楽しみください！

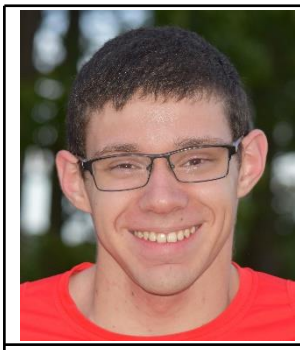
車いす招待選手(男子)
INVITED WHEELCHAIR ATHLETES (MEN)

※年齢は大会当日(2023年3月5日)のものとなります。

※Age as of March 5, 2023

プロフィール　Biographies

No.1001	国籍／スイス・SUI		生年月日／Date of Birth 16 Jan. 1986
	名前 マルセル・フグ		年齢／Age 37
	Name　HUG, Marcel		
資格記録 Qualified Time	Time 1:17:47／2021	大会名/Race 大分国際車いす (Oita)	順位/Place 1
自己最高記録 Personal Best	1:17:47／2021 ※世界記録(WR)	大分国際車いす (Oita)	1
備考／Remark	2020 東京パラリンピック (Paralympic Games – Tokyo)　1:24:02　1st		



No.1002	国籍／アメリカ・USA		生年月日／Date of Birth 3 Aug. 1998
	名前 ダニエル・ロマンチュク		年齢／Age 24
	Name　ROMANCHUK, Daniel		
資格記録 Qualified Time	Time 1:21:36*／2019	大会名/Race ボストン (Boston)	順位/Place 1
自己最高記録 Personal Best	1:21:36*／2019	ボストン (Boston)	1
備考／Remark	2020 東京パラリンピック (Paralympic Games – Tokyo)　1:29:05　3rd		

No.1003	国籍／イギリス・GBR		生年月日／Date of Birth 27 Nov. 1989
	名前 ジョンボーイ・スミス		年齢／Age 33
	Name　SMITH, Johnboy		
資格記録 Qualified Time	Time 1:31:05／東京マラソン2021 (Tokyo)		順位/Place 6
自己最高記録 Personal Best	1:31:05／東京マラソン2021 (Tokyo)		6
備考／Remark	2020 東京パラリンピック (Paralympic Games – Tokyo)　1:32:25　10th		

No.1004	国籍／ オーストラリア・AUS		生年月日／Date of Birth 11 Sep. 1992
	名前 ジェーク・ラピン		年齢／Age 31
	Name　LAPPIN, Jake		
資格記録 Qualified Time	Time 1:32:50／2022	大会名/Race ベルリン (Berlin)	順位/Place 7
自己最高記録 Personal Best	1:32:50／2022	ベルリン (Berlin)	7
備考／Remark	2022 ロンドン (London)　1:34:16　8th		

*は非公認記録ですがワールドパラアスレチックス(WPA)のランキングに反映されている記録となります。
*This record is reflected on the world ranking of World Para Athletics , but are not official record.

No.1005	所属／ 埼玉・トヨタ自動車		生年月日／Date of Birth 14 Jun. 1994
	名前 鈴木　朋樹		年齢／Age 28
	Name　SUZUKI, Tomoki		
資格記録 Qualified Time	Time	大会名/Race	順位/Place
	1:24:44／2022	大分国際車いす（Oita）	2
自己最高記録 Personal Best	1:18:37／2021 ※日本記録(NR)	大分国際車いす（Oita）	2
備考／Remark	2020 東京パラリンピック（Paralympic Games – Tokyo） 1:30:45　7th		

No.1006	所属／ 福岡・凸版印刷		生年月日／Date of Birth 23 Nov. 1991
	名前 渡辺　勝		年齢／Age 31
	Name　WATANABE, Sho		
資格記録 Qualified Time	Time	大会名/Race	順位/Place
	1:29:28／2022	大分国際車いす（Oita）	3
自己最高記録 Personal Best	1:24:00／2019	大分国際車いす（Oita）	4
備考／Remark	2021 大分国際車いす（Oita） 1:29:23　4th		

No.1007	所属／大阪・バカラパシフィック		生年月日／Date of Birth 11 Mar. 1984
	名前 西田　宗城		年齢／Age 38
	Name　NISHIDA, Hiroki		
資格記録 Qualified Time	Time	大会名/Race	順位/Place
	1:29:55／東京マラソン2021（Tokyo）		3
自己最高記録 Personal Best	1:20:28*／2017	ボストン（Boston）	5
備考／Remark	2021 大分国際車いす（Oita） 1:27:19　3rd		

*は非公認記録ですがワールドパラアスレチックス(WPA)のランキングに反映されている記録となります。
*This record is reflected on the world ranking of World Para Athletics , but are not official record.

車いす招待選手(女子)
INVITED WHEELCHAIR ATHLETES (WOMEN)

※年齢は大会当日(2023年3月5日)のものとなります。

※Age as of March 5, 2023

プロフィール　Biographies

No.2001	国籍／アメリカ・USA		生年月日／Date of Birth 16 May. 1991
	名前 スザンナ・スカロニ		年齢／Age 31
	Name　SCARONI, Susannah		
資格記録 Qualified Time	Time	大会名/Race	順位/Place
	1:36:26／2019	大分国際車いす (Oita)	3
自己最高記録 Personal Best	1:33:17*／2017	ボストン (Boston)	3
備考／Remark	2020 東京パラリンピック (Paralympic Games – Tokyo)　1:41:04　6th		

No.2002	国籍／スイス・SUI		生年月日／Date of Birth 5 Dec. 1984
	名前 マニュエラ・シャー		年齢／Age 38
	Name　SCHAR, Manuela		
資格記録 Qualified Time	Time	大会名/Race	順位/Place
	1:35:42／2019 ※世界記録(WR)	大分国際車いす (Oita)	1
自己最高記録 Personal Best	1:28:17*／2017	ボストン (Boston)	1
備考／Remark	2020 東京パラリンピック (Paralympic Games – Tokyo)　1:38:12　2nd		

No.2003	国籍／ オーストラリア・AUS		生年月日／Date of Birth 24 Nov. 1993
	名前 マディソン・デロザリオ		年齢／Age 29
	Name　DE ROZARIO, Madison		
資格記録 Qualified Time	Time	大会名/Race	順位/Place
	1:43:43／2022	ベルリン (Berlin)	6
自己最高記録 Personal Best	1:39:22／2017	シカゴ (Chicago)	4
備考／Remark	2020 東京パラリンピック (Paralympic Games – Tokyo)　1:38:11　1st		

No.2004	国籍／ アメリカ・USA		生年月日／Date of Birth 31 Jan. 1997
	名前 イェナ・フェスマイヤー		年齢／Age 26
	Name　FESEMEYER, Jenna		
資格記録 Qualified Time	Time	大会名/Race	順位/Place
	1:49:52／2022	シカゴ (Chicago)	3
自己最高記録 Personal Best	1:49:52／2022	シカゴ (Chicago)	3
備考／Remark	2020 東京パラリンピック (Paralympic Games – Tokyo)　1:50:06　11th		

*は非公認記録ですがワールドパラアスレチックス(WPA)のランキングに反映されている記録となります。
*This record is reflected on the world ranking of World Para Athletics , but are not official record.

No.2005	国籍／オーストラリア・AUS		生年月日／Date of Birth 3 May. 1980
	名前 クリスティ・ドーズ		年齢／Age 42
	Name DAWES, Christie		
資格記録 Qualified Time	Time	大会名/Race	順位/Place
	1:47:27／2022	ゴールドコースト（Gold Coast）	2
自己最高記録 Personal Best	1:37:14*／2017	ボストン（Boston）	6
備考／Remark	2020 東京パラリンピック（Paralympic Games – Tokyo） 1:46:44 8th		

No.2006	所属／沖縄・琉球スポーツサポート		生年月日／Date of Birth 18 May. 1990
	名前 喜納 翼		年齢／Age 32
	Name KINA, Tsubasa		
資格記録 Qualified Time	Time	大会名/Race	順位/Place
	1:38:11／2022	大分国際車いす（Oita）	3
自己最高記録 Personal Best	1:35:50／2019 ※日本記録(NR)	大分国際車いす（Oita）	2
備考／Remark	2020 東京パラリンピック（Paralympic Games – Tokyo） 1:42:33 7th		

No.2007	所属／東京・ウィルレイズ		生年月日／Date of Birth 15 Oct. 1974
	名前 土田 和歌子		年齢／Age 48
	Name TSUCHIDA, Wakako		
資格記録 Qualified Time	Time	大会名/Race	順位/Place
	1:37:59／2022	大分国際車いす（Oita）	1
自己最高記録 Personal Best	1:34:06*／2011	ボストン（Boston）	1
備考／Remark	2020 東京パラリンピック（Paralympic Games – Tokyo） 1:38:32 4th		

*は非公認記録ですがワールドパラアスレチックス(WPA)のランキングに反映されている記録となります。
*This record is reflected on the world ranking of World Para Athletics , but are not official record.

車いすエリート選手(男子)リスト

ELITE WHEELCHAIR ATHLETES (MEN)

No.	氏名 Name		国籍・所属 Nationality・Club		年齢 Age	出場資格記録 (2019年3月～2023年1月) Qualified Time (Marked between March 2019 and January 2023)		自己記録 Personal Best
1001	マルセル・フグ	HUG, Marcel	SUI	スイス	37	1:17:47	2021 大分国際車いす	1:17:47 (WR)
1002	ダニエル・ロマンチュク	ROMANCHUK, Daniel	USA	アメリカ	24	1:21:36*	2019 ボストン(Boston)	1:21:36*
1003	ジョンボーイ・スミス	SMITH, Johnboy	GBR	イギリス	33	1:31:05	2022 東京2021(Tokyo)	1:31:05
1004	ジェーク・ラピン	LAPPIN, Jake	AUS	オーストラリア	31	1:32:50	2022 ベルリン(Berlin)	1:32:50
1005	鈴木 朋樹	SUZUKI, Tomoki	埼玉	トヨタ自動車	28	1:24:44	2022 大分国際車いす	1:18:37 (NR)
1006	渡辺 勝	WATANABE, Sho	福岡	凸版印刷	31	1:29:28	2022 大分国際車いす	1:24:00
1007	西田 宗城	NISHIDA, Hiroki	大阪	パカラパシフィック	38	1:29:55	2022 東京2021(Tokyo)	1:20:28*
1101	洞ノ上 浩太	HOKINOUE, Kota	福岡	ヤフー株式会社	48	1:26:48	2020 大分国際車いす	1:20:14
1102	副島 正純	SOEJIMA, Masazumi	長崎	ソシオSOEJIMA	52	1:29:23	2021 大分国際車いす	1:18:50
1103	吉田 高志	YOSHIDA, Takashi	大阪	奥アンツーカ	44	1:29:42	2022 大分国際車いす	1:24:04
1104	吉田 竜太	YOSHIDA, Ryota	東京	SUS	41	1:30:07	2022 東京2021(Tokyo)	1:23:18
1105	樋口 政幸	HIGUCHI, Masayuki	千葉	プーマジャパン	44	1:31:02	2020 東京 (Tokyo)	1:22:02
1106	廣道 純	HIROMICHI, Jun	福岡	EY Japan	49	1:33:12	2022 グランマーズ (Grandma's, Duluth)	1:03:23
1107	大津 圭介	OTSU, Keisuke	福岡	福岡県庁	55	1:36:05	2019 大分国際車いす	1:37:27
1108	松永 仁志	MATSUNAGA, Hitoshi	岡山	WORLD-AC	50	1:36:27	2022 大分国際車いす	1:37:02
1109	河室 隆一	KAWAMURO, Ryuichi	大分	ホンダアスリート	49	1:36:43	2022 東京2021(Tokyo)	1:29:35
1110	武村 浩生	TAKEMURA, Koki	福岡	Yahoo!	35	1:37:27	2022 大分国際車いす	1:28:41
1111	佐藤 健	SATO, Ken	埼玉	コロンビアスポーツウェアジャパン	39	1:37:30	2022 大分国際車いす	1:37:30
1112	安岡 チョーク	YASUOKA, Choke	東京	リーフラス	50	1:43:28	2022 東京2021(Tokyo)	1:22:17
1113	マーク・ミラー	MILLAR, Mark	IRL	アイルランド	42	1:44:37	2021 ロンドン(London)	1:44:37

*非公認記録ですが、世界陸連(WA)のWorld Rankingのポイントに反映されている記録となります。
*This record is reflected on the World Ranking of the World Athletics(WA), but are not official record.

車いすエリート選手(女子)リスト

ELITE WHEELCHAIR ATHLETES (WOMEN)

No.	氏名 Name		国籍・所属 Nationality・Club		年齢 Age	出場資格記録 (2019年3月～2023年1月) Qualified Time (Marked between March 2019 and January 2023)		自己記録 Personal Best
2001	スザンナ・スカロニ	SCARONI, Susannah	USA	アメリカ	31	1:36:26	2019 大分国際車いす	1:33:17*
2002	マニュエラ・シャー	SCHAR, Manuela	SUI	スイス	38	1:35:42(WR)	2019 大分国際車いす	1:28:17*
2003	マディソン・デロザリオ	DE ROZARIO, Madison	AUS	オーストラリア	29	1:43:43	2022 ベルリン(Berlin)	1:39:22
2004	イェナ・フェスマイヤー	FESEMEYER, Jenna	USA	アメリカ	26	1:49:52	2022 シカゴ(Chicago)	1:49:52
2005	クリスティ・ドーズ	DAWES, Christie	AUS	オーストラリア	42	1:47:27	2022 ゴールドコースト(Gold Coast)	1:37:14*
2006	喜納 翼	KINA, Tsubasa	沖縄	琉球スポーツサポート	32	1:38:11	2022 大分国際車いす	1:35:50 (NR)
2007	土田 和歌子	TSUCHIDA, Wakako	東京	ウィルレイズ	48	1:37:59	2022 大分国際車いす	1:34:06*

*非公認記録ですが、世界陸連(WA)のWorld Rankingのポイントに反映されている記録となります。
*This record is reflected on the World Ranking of the World Athletics(WA), but are not official record.

車いすエリート(男子)出場選手数

TOTAL NUMBER OF ELITE WHEELCHAIR ATHLETES (MEN)

車いすエリート男子 Total Number of Elite Athletes	20名
うち海外招待選手 International Invited Wheelchair Athletes	4名
うち国内招待選手 Japanese Invited Wheelchair Athletes	3名

車いすエリート(女子)出場選手数

TOTAL NUMBER OF ELITE WHEELCHAIR ATHLETES (WOMEN)

車いすエリート女子 Total Number of Elite Athletes	7名
うち海外招待選手 International Invited Wheelchair Athletes	5名
うち国内招待選手 Japanese Invited Wheelchair Athletes	2名